

# 小規模企業景気動向調査

[令和元年9月期調査]

～消費増税前の駆け込み需要で好調も、先行き不透明な小規模企業景況～

2019年11月5日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2019年9月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…消費増税前の駆け込み需要で好調も、先行き不透明な小規模企業景況…◇

9月期の小規模企業景気動向調査は、全DIで改善となったが、業況DI、採算DI、資金繰りDIが小幅、売上額DIが5.5ptと大幅に改善した。消費税増税直前の駆け込み需要で、建設業や小売業の売上が伸びたとのコメントが見られたが、その中でも耐久消費財を取り扱う電気機械器具小売業が大きく牽引する結果となった。10月からの軽減税率の対象外とはならない生活必需品においても駆け込み需要が発生するも、前回ほどの売上は見られず、却って、増税後の需要の動向に不安しかないとの声が聞かれた。

## <製造業> ◇…駆け込み需要で売上が大幅改善も、今後不安が残る製造業…◇

製造業は全業種中で唯一業況DIが悪化となったが、悪化幅はごくわずかであった。消費税増税直前の駆け込み需要で、食料品製造業を中心に売上が伸びたことが要因で、売上額DIは5.0ptと大幅改善した。一方、繊維・機械器具製造業では需要が落ち込んでいる。半導体や工作機械製造業を中心に最低賃金引き上げ、生産性向上や人手不足など改善しなければいけない事案が山積みで、事業者の頭を悩ませている。

## <建設業> ◇…駆け込み需要で好調の中、災害復旧工事に追われる建設業…◇

建設業は、業況DIを除く3DIが改善したが、他3業種と比べると改善幅は小幅であった。先月同様、消費税増税前の駆け込み需要で、一部業種に受注が好調であった。地域によってはリフォーム工事も活発に行われており、下請け事業者も多忙との声が聞かれた。9月上旬に発生した台風第15号で被害を受けた商工会の経営指導員からは、総合工事業、職別工事業、設備工事業を問わず受注が発生しており、その対応に追われているものの、資材発注や外注費の支出も多く、資金繰りが懸念されているとの報告があった。

## <小売業> ◇…駆け込み需要の影響で、2か月連続して大幅に改善した小売業…◇

小売業は、先月に引き続き全DIが改善した。改善幅は、売上額DIは12.7pt、業況DIは10.9pt、採算DIは9.2ptとなった。10月からの消費税増税の駆け込み需要で、軽減税率の対象とならない白物家電や暖房器具、スノータイヤなどの自動車用品で売上が伸びた。一方で、台風第15号の他、9月は週末の天候が悪く、行楽シーズン向けの需要はあまり振るわなかった。

## <サービス業> ◇…軽減税率の対象外となる飲食業や理美容業で駆け込み需要が発生したサービス業…◇

サービス業は、小売業と並んで全DIが改善した。改善幅は全て小幅となった。飲食業では、消費税増税前の駆け込み消費が若干見られるなど、顧客の増加に繋がったとの声があった。また、理美容業関連では、軽減税率の対象外となることから9月中に来店する客が増え、売上が伸びた。一方で、宿泊・飲食関連のサービス業においては、週末の天候不順により、集客が大幅に減少し、資金繰りに影響が支障が出ているとの声があった。消費税増税の価格転嫁が不十分な事業者においては、10月からの採算悪化が懸念されるとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 10.9	▲ 5.4	5.5	▲ 9.6	▲ 4.6	5.0	4.2	5.2	1.0
採算	▲ 17.6	▲ 12.7	4.9	▲ 18.4	▲ 14.0	4.4	▲ 10.3	▲ 8.9	1.4
資金繰り	▲ 13.1	▲ 10.6	2.5	▲ 12.4	▲ 11.5	0.9	▲ 9.2	▲ 7.6	1.6
業況	▲ 16.5	▲ 13.3	3.2	▲ 16.1	▲ 16.4	▲ 0.3	▲ 2.6	▲ 2.6	0.0

業種	小売業			サービス業		
	8月	9月	前月比	8月	9月	前月比
売上額	▲ 21.5	▲ 8.8	12.7	▲ 16.5	▲ 13.6	2.9
採算	▲ 25.3	▲ 16.1	9.2	▲ 16.5	▲ 11.7	4.8
資金繰り	▲ 19.1	▲ 14.3	4.8	▲ 11.9	▲ 9.2	2.7
業況	▲ 28.7	▲ 17.8	10.9	▲ 18.5	▲ 16.1	2.4

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

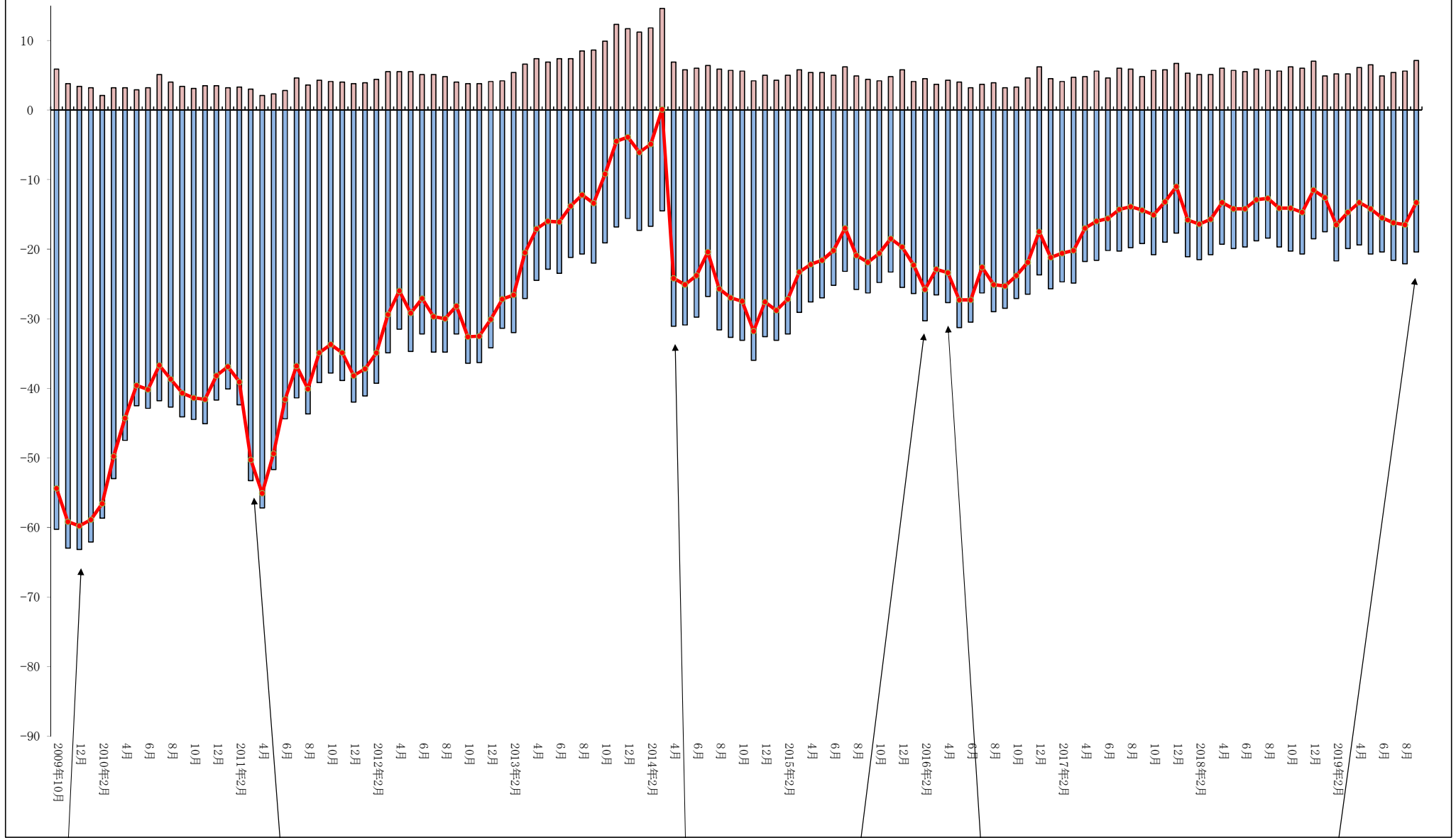
全国商工会連合会 政策推進部 事業環境課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



10年1月  
過去10年間最低数値  
(-58.9)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上  
げ

16年2月16日  
日銀マイナス  
金利導入

16年4月  
熊本地震

19年9月  
-13.3

## 小規模企業景気動向調査(9月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・10月の消費税増税に向けて各業界で対応が始まっている。特に食料小売店、食品製造業、耐久消費財販売関係からは、軽減税率やキャッシュレス決済、レジ補助金等の問い合わせが出てきている。

(群馬県笠懸町商工会)

・市内景況については、10月からの消費税増税の駆け込み需要が若干みられるなど全体的には、個人消費の持ち直しがみられた。小売業・飲食業・サービス業では前年比を上回る売上高となった。10月以降の先行き感については、消費が悪くなると感じている事業所が多い。住宅設備関連では、受注高の前年比割れが長期化し、工務店等は苦戦を強いられている。製造業では、金属製品加工関連などでは一部で生産が弱まりをみせている。製造業全体としては前年比を若干下回っているところが多かった。先行き感についても、日韓、米中、米朝関係の悪化の影響による不況を懸念している。

(兵庫県川西市商工会)

・増税前もあり全体的に状況は好調である。  
金融機関の貸出し態度は以前軟化しているが、若干締めにかかっている気配がある。

(宮城県佐土原町商工会)

・小売業や建設業を中心に、一部で消費税増税直前の駆け込み需要による売上げが増加し、業況の好転が見られた。

(栃木県那須烏山商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・全体的に仕入価格の上昇を聞いています。販売価格を上げられず消費増税に不安しかないとの言葉を聞いています。

(滋賀県高島市商工会)

・地域の経済状況は、資材や人件費の上昇及び若干売上の減少傾向があり若干悪化の傾向。  
消費税増税、軽減税率の対応等で販路拡大等に手が回らず、キャッシュレスは消費者からの問い合わせが少ないため取り組みを手控える事業所が多く、販路拡大が進んでいない。

(山口県山口県央商工会)

・地域の全般的な経済状況及び金融機関の貸出態度について、特に変化は見られない。引き続き、景気の停滞感、人手不足感が漂っている。今年の夏は例年よりも台風が多く、特にサービス業(宿泊関係・レンタカー・タクシー・貸切バス)ではキャンセル等により売上が減少した。

(長崎県新上五島町商工会)

・消費税増税前の駆け込み需要の影響は予想より少ないように思われます。  
本来であれば消費税増税の駆け込み需要の影響で9月が業績回復し、10月の反動に備えるという流れになるとの予測でしたが、9月が思ったほど伸びないうに10月が消費税増税で冷え込んだ場合全体的に業況は悪くなるものと思われます。

(熊本県熊本市城南商工会)

・台風15号の直接被害に加え、停電や断水、通信不通などにより数日から2週間以上に亘り、市内全域の全業種に経済活動の停滞が見られた

(千葉県山武市商工会)

・消費税率の10%引き上げに伴い、複数税率対応レジの導入やキャッシュレス・ポイント還元事業への加盟店登録など相談について増加傾向であった。しかし、今後の事業の見通しや費用負担、導入効果などを鑑みて対応しない事業者も多く見受けられた。  
産業廃棄物処理(鉄・非鉄リサイクル)業では、昨今の外国情勢の影響を大きく受けており、ここ3~4か月は売値が大幅に下がり経営に悪影響が出ている。

(秋田県かづの商工会)

・小売店を中心に、10月からの消費税増税に対する対応策に奔走している印象を受ける。軽減税率対応のレジを導入したいが、メーカーの製造が間に合っておらず、10月1日には間に合いそうもない。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・パーツなどの小物の製造業では増税対策なのかいつもより多くの受注があった

(東京都日野市商工会)

・繊維関連の製造業は、オリンピックに向けた全体的な需要拡大のため、引き合いが増え製造が追いつかないほどだ。

(群馬県中之条町商工会)

・食品製造業は取引も増え自社でのカフェも好調なため他地域からの引き合いもある。金属部品関係の製造業は米中の不安要素もあり引き続き昨年に比べ受注も低迷。

(長野県佐久市望月商工会)

・国産ぶどうのワイン需要、ワインビネガー及び飲むお酢商品、焼き肉のたれ需要は増加傾向で推移。

農産物の一次加工企業の受注が微増。

縫製業下請けの受注・生産は弱含みで特に雨用製品は天候に影響を受けた。

国産木加工製品は徐々に受注増。

情報通信機械は、工作機械需要の落ち込みを受け減少傾向。半導体装置は、受注・生産が減少が続いている。

自動車部品や車載向け部品の需要、堅調を維持している。

(山梨県山梨市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・歯科技工関連の製造業は、先端機器を導入して生産性をあげないと、競合他社に太刀打ちできなくなっている。しかし、1人親方の多い業種のため、信用力が乏しく、設備導入の融資に対応してもらえない。

(兵庫県太子町商工会)

・電気機械器具関連の製造業の下請け企業では、令和元年10月からの最低賃金アップに向けて元請け会社との受注金額アップの交渉を行っているが、交渉が難航している企業も見られる。

(鳥取県鳥取市東商工会)

・被災状況によるが、出来る範囲で製造を続けている。建物や機械等が損壊・故障した事業所も少なくない。

食料品の製造業は、停電により冷凍・冷蔵していた材料や商品の多くをロスしている。

(千葉県南房総市内房商工会)

販路開拓は考えてはいるものの従業員不足のため実施できていない。機械金属では国際的な半導体不況の影響が出てきつつある。

(鹿児島県かごしま市商工会)

・「食料品」…増税前の駆け込み需要は少なく、売上は昨年並み。また、9月下旬になっても消費税増税、軽減税率への対応、キャッシュレスの手続きに追われる事業者が多く見られた。処理の複雑化から不安を抱えているところも多い。  
「繊維工業」…賃織り業者は短納期の受注を抱え忙しんでいる状況。一方で代行店や手張り業者は先行き不透明で安心はできない状況であると認識している。  
「機械・金属」…受注量は前年より若干減少。鋼材仕入価格は同じくらいで採算も同じくらい。今後は前年より比べ徐々に減少すると予測される。

(京都府京丹後市商工会)

・半導体・精密機械等取引先の工作機械メーカーからの受注が減少しており、売上は減少傾向にある。(機械金属製造業)

(岡山県浅口商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

・消費税増税前ではあるが大きな変化は見受けられないが、建築関係では駆け込み需要があり、年内いっぱい仕事がつづく見込みである。金融機関の貸出は、貸し渋りや貸しはがしはない。

(北海道枝幸町商工会)

・台風発生による軽微な建物損害が町内で多数あり、工務店や電気設備業を中心に稼働増加が見られている。

(静岡県南伊豆町商工会)

・建築業については復旧関連工事はまだこなせていない状況で、足場等は取り合いの状況となっており現場がなかなかこなせていけない模様

(京都府京北商工会)

・リフォーム工事業では市がリフォーム商品券の発行を実施したため問い合わせ、売上が増加した。

(岡山県備前東商工会)

・消費税率改正に伴う駆け込み需要により、受注増となっている。大手ハウスメーカーの新築工事・リフォーム工事が活発のため、下請け事業者も多忙との声が多かった。また、受注増の動きは現在もある為、10月・11月まで多忙は続くとの声もある。

(栃木県大平町商工会)

・増税前の駆け込み需要で内装工事業や電気工事業の一部の設備工事業において受注増加のケースも見受けられた。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・多少なりとも消費税の駆け込み需要はあるが材料価格の高止まりのため内容は良くない。今後は悪化の懸念あり。

(茨城県日立市十王商工会)

・被災者からの受注により、家屋関係の建設業(建築、住宅飯金、左官等)のほぼ全般において受注がパンク状態にある。  
立て続けに仕事を請け負っている中、多くの事業所が依頼者の現状から請求を出しあぐねており、資金ショートが懸念される。

(千葉県南房総市内房商工会)

・前回の増税のタイミングほど駆け込み需要がなかった。また、仕入単価が徐々に増加しているため、採算が合わなくなってきた。

(秋田県湯上市商工会)

・増税前の駆け込み需要も企業間格差がある。殺到している企業は職人の手配がつかず9月中に対応できないケースもあった。一方、長期の公共工事を請けている事業所は新規の受注に柔軟に対応できる職人の対応に苦慮しており公共工事終了後の業況が不透明。

(長野県佐久市望月商工会)

・自然災害が少ない地域のため、災害復興に伴う工事は無い。一般的な公共工事については、公共施設の大規模工事(体育館・市庁舎)も終わり、これから少なくなる予想。

(長野県戸倉上山田商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

・食料小売業においては、軽減税率のため大きな変化はない。  
化粧品やトイレトーパー等一般雑貨の取扱店では、若干の売上増となっている。

(北海道枝幸町商工会)

・消費税により、家電製品の売り上げの上昇傾向  
暖房器具の需要多い⇒ファンヒーター  
車輪関係⇒スノータイヤ

(茨城県小美玉市商工会)

・家電関連小売業は、消費税のため、白物家電を中心に販売が好調であった。

(石川県羽咋市商工会)

・日用品関連小売については10月からの消費税率引き上げに伴う、駆け込み需要があり、売上が増えている。10月以降の買い控えが心配な状況

(東京都東久留米市商工会)

・衣料小売…消費税増税前で、秋冬物衣料が好調だが、増税後の販売が不安。10月よりプレミアム商品券の取り扱いが始まるので、制服や体育着の売上増に期待。

食料品…前回ほどではないものの消費税増税前で売上が上がっている。店舗によってはキャッシュレス利用客が7割を占めるなどの声が聞かれたが、どれだけ全体に浸透しているかは未知数。

耐久消費財…増税前の駆け込み需要は想定範囲内で推移。むしろ在庫不足・メーカーや卸業者が品薄なことにより売上機会を喪失していることの方が影響が大きい。キャッシュレス決済も導入したが、この後の落ち込みが不安。

(秋田県由利本荘市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・メガネ関連の小売業は、消費税の駆け込み需要で前年対比増となっているが、次月以降反動があるものと思われる。飲食店関連の小売業は、ウィークデーに近づくにつれて、客入りは増えるが、それ以外は閑散としていることが増えた。

(兵庫県太子町商工会)

・台風を含めた週末の天候悪化が多く、観光客数減少により売上減少となっている。

(静岡県南伊豆町商工会)

・停電により冷蔵・冷凍商品の多くをロスしている。

また古い建物で営業している商店は損壊状況が大きく、廃業を選ぶ事業所も少なくない。

(千葉県南房総市内房商工会)

・8月に引き続き、不調が続いている。プレミアム商品券取扱い店としての登録はしたが、周囲には購入手続きをしていない人も多く、効果があるか不明である。(衣料品販売)

はっきりとした原因は分かっていないが、不調であった。消費増税に合わせる形で様々な単価が上昇傾向にあるため、苦しい経営状態である。(精肉店)

例年10月中旬から暖房器具が売れ始めるのだが、今年は9月でも暑い日が多く続いたため、今年は遅れると予想される。(家電)

(静岡県森町商工会)

・食料品等小売業では石油価格や人件費高騰の影響で日用品、日配品の価格が上昇しており売り上げが鈍化している。

(岡山県備前東商工会)

・消費税の増税による様々な対策が強いられているなか、価格や商品・サービスで劣ることから、大型店等に消費が流失している状況にある。

(新潟県羽茂商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

・飲食業は好天と地域イベントが重なり良好な稼働状況である

(宮城県みやぎ北上商工会)

・美容関連のサービス業は、人々の美容意識が向上しているため、利用が増えている。

(広島県呉広域商工会)

・飲食業では、消費税増税前の駆け込み消費が若干みられるなど、顧客の増加につながった。売上高が前年比増で推移した事業所が多かった。美容業では、売上高が前年比微増したところが多く見られた。その他のサービス業全般でも、消費の弱まりが回復基調を見た。10月以降は、再び消費が弱まると感じている事業所が多い。

(兵庫県川西市商工会)

・理・美容業関連のサービス業は、増税の影響から9月中に来店されるお客様が増え、売上も少し増加した。シャンプー等、仕入単価は値上がり傾向にある。

(秋田県かつの商工会)

・観光関連は前年並み。飲食店は新規創業もあるものの、既存店も含め企業間格差が大きい。付加価値のあるサービスが提供できるかで集客に差が出ている。

(長野県佐久市望月商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・宿泊・飲食関連のサービス業においては、週末の天候不順により、来店客が大幅に減少し、資金繰りに影響が出ている。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

・地域に多い宿泊業は、旅館部分を被災して営業できない事業所も多く、使える部屋のみで受け付けている事業所もあるが、建物そのものが使えなくなっている事業所もあり、廃業を選ぶ事業所も出ている。

(千葉県南房総市内房商工会)

・クリーニング関連のサービス業は、半日で仕事が終わっている状況で厳しい業況下にある。

(滋賀県野洲市商工会)

・顧客は男性客が大半だが、男性は財布のひもが固く、低料金の店舗へ流れていっている印象。男性客でも理容を使わず美容院へ行く客が多く、客離れが顕著。(理美容業)

(岡山県浅口商工会)

・消費税増税に伴う転嫁が充分に行き渡っておらず、業界や個店によってバラつきが見られるため、採算の悪化が懸念される。

(山梨県山梨市商工会)